

## 東京都中学校体育連盟剣道部のあゆみ

昭和 26 年	しない競技として剣道が復活する。
27 年	中体連でしない競技の講習会実施をする。
28 年	中体連「しない競技部」発足 初代部長に鈴木幾雄、副部長に平野五郎が就任する。
29 年	第 1 回大会を新宿高校で開催する。
30 年	剣道・しない競技大会を同時に開催する。 笹森先生より優勝杯が寄贈される。
31 年	初代部長 鈴木幾雄が勇退する。
32 年	「剣道部」と名称が変わる。 第 2 代部長に平野五郎、副部長に渡子孝が就任する。
37 年	指導要領に剣道が正課として入る。
39 年	東京オリンピックが開催される。
45 年	第 2 代部長、平野五郎が勇退する。 第 1 回中学校剣道指導者宿泊研修会を千葉県・日本武道館勝浦研修センターで実施する。
46 年	第 3 代部長に武藤英雄、副部長に松井貞志・今栄俊一郎が就任する。 第 1 回全国中学生剣道大会を東京・日本武道館で開催する。 以来 57 年 12 回大会まで東京・日本武道館で開催する。 第 1 回女子の団体戦（3 名）始まる。
51 年	第 1 回関東大会を東京・開成中学校で開催する。 第 6 回全国中学校剣道大会、男子団体において駒場東邦中が敢闘賞を受賞する。
52 年	第 2 回関東大会を東京・日本武道館で開催する。 第 7 回全国中学生剣道大会において葛飾区立上平井中学校（武藤英雄顧問）が 3 位に入賞する。
53 年	第 3 回関東大会、女子団体において三宅中が準優勝する。 中体連剣道部発足 25 周年記念誌発行
54 年	全国大会で第 1 回女子団体戦（3 名）を実施する。 第 4 回関東大会、男子の部において金町中が優勝する。
56 年	武藤英雄部長・松井貞志副部長共に勇退される。 第 4 代部長に今栄俊一郎、副部長に野尻忠克・脇本三千雄が就任する。
57 年	第 7 回関東大会、男子の部において京北中が優勝する。
58 年	中体連剣道部発足 30 周年 全国大会がブロック持ち回り開催となり、名称を全国中学校選抜剣道大会とし第 13 回大会を岡山県で開催した。 教職員大会が地区単位となり中野区が優勝する。
60 年	第 10 回関東大会を日本武道館で開催する。 第 15 回全国中学校剣道大会、男子団体において国土館中が第三位に入賞する。
62 年	今栄俊一郎部長勇退される。 第 5 代部長に小林武夫が就任する。

平成元年	勝浦宿泊研修 20 周年 第 14 回関東中学校剣道大会、女子団体において保谷中が 3 位入賞する。
2 年	小林武夫部長勇退される。 第 6 代部長に野尻忠克、副部長に植竹忠明、佐藤光男が就任する。
3 年	個人戦始まる。 第 16 回関東中学校剣道大会、男子個人の部において阿部剛志(国士舘中)が優勝する。
5 年	中体連剣道部発足 40 周年 第 18 回関東大会を日本武道館で開催する。男子個人の部において遠山健二(秋川東中)が優勝、後藤慎司(国士舘中)が敢闘賞を受賞する。 第 23 回全国中学校剣道大会、男子個人において後藤慎司(国士舘中)が第三位に入賞する。
7 年	野尻忠克部長勇退される。 第 7 代部長に平林忠が就任する。
8 年	第 26 回全国中学校剣道大会において練馬区立石神井中が敢闘賞を受賞する。
9 年	第 22 回関東中学校剣道大会において東京成徳大学中が優勝する。(東京都女子初優勝)
10 年	中体連剣道部 45 周年記念大会・祝賀会実施する。 第 28 回全国中学校剣道大会において荒武秀春(国士舘中)が個人 2 位に入賞する。 顧問植竹忠明・第 7 代部長平林忠が勇退される。
11 年	顧問足立和明、第 8 代部長に佐藤光男、副部長に宮林高夫、三宅哲也、比良田健一、小倉勉が就任する。勝浦研修が第 30 回を迎える。 第 24 回関東中学校剣道大会において東京成徳大学中が 3 位入賞する。男子個人において佐藤善和(上平井中)、女子個人において牛之濱 香(東京成徳大学中)がともに 3 位入賞する。
12 年	第 25 回関東中学校剣道大会において東京成徳大学中が優勝する。また個人戦において安本 愛(東京成徳大学中)が準優勝する。
13 年	第 26 回関東中学校剣道大会を日本武道館で開催する。大会において男子団体・国士舘中が優勝する。女子団体・東京成徳大学中が 3 位に入賞する。 女子個人において澤田舞夕(東京成徳大学中)が優勝する。男子個人において石田雄二(東村山第六中)が準優勝する。 第 31 回全国中学校剣道大会において澤田舞夕(東京成徳大学中)が敢闘賞を受賞する。
14 年	第 27 回関東中学校剣道大会において国士舘中、東京成徳大学中がともに準優勝する 第 32 回全国中学校剣道大会男子団体において国士舘中が、男子個人において田中星義(国士舘中)がともに敢闘賞を受賞する。
15 年	東京都中学校体育連盟剣道部が創部 50 周年を迎える。 第 28 回関東大会において男子団体・上平井中が優勝をする。また、男子個人において石田雄二(東村山第六中)が東京都三連覇、第 33 回全国大会において 3 位に入賞する。 東京都剣道連盟より秋季大会優勝杯の寄贈を受ける。
16 年	中体連剣道部 50 周年記念式典を行なう。 第 34 回全国中学校剣道大会女子団体戦において国士舘中が敢闘賞を受賞する。 女子個人において斉藤愛里(国士舘中)が優秀選手賞を受賞する。 第 8 代部長佐藤光男が勇退される。比良田健一副部長が勇退される。
17 年	第 9 代部長に宮林高夫、顧問品川榮一、副部長山本博敏が就任する。 第 30 回関東中学校剣道大会男子団体において国士舘中準優勝、深川第二中敢闘賞、男子個人において橋本夏夢(明大中野中)第 3 位、女子団体において秋多中敢闘賞を受賞する。 また、第 35 回全国大会男子個人において田島純一(深川第二中)敢闘賞を受賞する。
18 年	第 31 回関東中学校剣道大会男子団体において深川第二中優勝、国士舘中準優勝、本郷中第 3 位、男子個人において第 3 位木立 快(深川第二中)、渡邊龍二郎(国士舘中)が入賞する。女子個人において佐々木美智(深川第二中)が敢闘賞を受賞する。
19 年	第 37 回全国中学校剣道大会、女子団体において国士舘中が敢闘賞を受賞。 第 32 回関東中学校剣道大会男子個人において準優勝 岩瀬卓也(茗台中)敢闘賞 川邊 翔(秋多中)が入賞する。
平成 20 年	第 38 回全国中学校剣道大会、女子団体において国士舘中が第 3 位に入賞する。 第 33 回関東中学校剣道大会男子団体において関中が第 3 位、女子団体において国士舘中が準優勝、小金井第一中が敢闘賞を受賞する。同じく男子個人戦において青野 航(稲付中)、女子個人戦において三浦あずさ(秋多中)が共に敢闘賞を受賞する。

21年	<p>第39回全国中学校剣道大会、男子団体において関中が敢闘賞、男子個人戦において村上弘樹（関中）が敢闘賞を受賞する。</p> <p>第34回関東中学校剣道大会、男子団体において関中が準優勝、女子団体において小金井第一中が第3位を受賞する。同じく男子個人戦において西澤航（国土館中）が優勝する。</p>
22年	<p>第40回全国中学校剣道大会、男子団体において関中が敢闘賞、男子個人戦において佐々木陽一朗（関中）が敢闘賞を受賞する。</p> <p>第35回関東中学校剣道大会、男子団体において関中が優勝、国土館中、京北中が敢闘賞、女子団体において小金井第一中が敢闘賞を受賞する。</p> <p>第9代部長宮林高夫が勇退される。三宅哲也、小倉勉副部長が勇退される。</p>
23年	<p>第10代部長に山本博敏、副部長に田中裕、上野貞治、沢野久、井上竜太が就任する。</p> <p>第36回関東中学校剣道大会、男子団体において関中が準優勝、国土館中が第三位、女子団体において国土館中が優勝、小金井第一中が敢闘賞、男子個人において阿部凌大（関中）が優勝、女子個人において渡邊桃子（国土館中）が第三位、長谷川理恵（小金井第一中）が敢闘賞を受賞する。</p>
24年	<p>第42回全国中学校剣道大会、女子個人において渡邊桃子（国土館中）が準優勝する。</p> <p>第37回関東中学校剣道大会、男子団体において関中が優勝、板橋加賀中が敢闘賞、女子団体において小金井第一中が優勝、国土館中が第三位、男子個人において伊藤玖太郎（国土館中）が準優勝、大山勇希（瑞穂中）が第三位、女子個人において長谷川理恵（小金井第一中）が優勝、渡邊桃子（国土館中）が敢闘賞を受賞する。</p> <p>沢野久副部長が勇退される。</p>
25年	<p>副部長に木村孝治が就任する。</p> <p>東京都中学校体育連盟剣道部が創部60周年を迎える。</p> <p>第43回全国中学校剣道大会、女子団体において国土館中が優勝、男子団体において国土館中が第三位に入賞する。第38回関東中学校剣道大会、男子団体において関中が優勝、国土館中が準優勝、男子個人において落合皓一郎（国土館中）が準優勝、小山輝（文林中）が敢闘賞、女子個人において村井滉菜（国土館中）が敢闘賞を受賞する。</p>
26年	<p>第39回関東中学校剣道大会、女子団体において国土館中が優勝、男子団体において国土館中が準優勝、関中が敢闘賞、男子個人において小川大輝（関中）が敢闘賞を受賞する。</p> <p>第44回全国中学校剣道大会、男子団体において関中が敢闘賞を受賞する。</p> <p>中体連剣道部創部60周年記念講演会祝賀会を実施、記念誌を発行する。</p> <p>田中裕、上野貞治副部長が勇退される。</p>
27年	<p>第40回関東中学校剣道大会、男子団体において関中、男子個人において小川大輝（関中）が敢闘賞を受賞する。第45回全国中学校剣道大会、男子団体において関中が第三位に入賞する。</p>
28年	<p>第41回関東中学校剣道大会、男子団体において郁文館中が第三位、国土館中、関中、東洋大京北中が敢闘賞、女子団体において国土館中が準優勝、女子個人において松崎雛乃（淑徳巣鴨中）佐藤志帆（国土館中）が敢闘賞を受賞する。</p> <p>第46回全国中学校剣道大会、男子団体において国土館中が第三位、女子団体において国土館中が第三位を受賞する。第11回全国都道府県対抗少年剣道優勝大会、中学生の部において東京都チームが優勝する。第10代山本博敏部長が勇退される。</p>
29年	<p>第11代部長に木村孝治が就任する。第42回（東京開催）関東中学校剣道大会男子団体において関中が第三位、国土館中が敢闘賞、男子個人において大平翔斗（関中）が優勝、女子団体において中澤木季（秋多中）が敢闘賞を受賞する。第47回全国中学校剣道大会男子団体において関中が準優勝する。</p>
30年	<p>第43回関東中学校剣道大会男子団体において関中が優勝、秋多中・国土館中が敢闘賞、女子団体において淑徳巣鴨中が第三位、男子個人において大槻哲平（明大中野中）が第三位、浦井進太郎（関中）が敢闘賞、女子個人において北井沙樹（淑徳巣鴨中）が優勝、中澤木季（秋多中）が第三位、時任心（日体大桜華中）が敢闘賞を受賞する。第48回全国中学校剣道大会女子団体において淑徳巣鴨中が優勝する。</p>